

【22_080/技術系メルマガ】『型』=手法ではない

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

三連休最終日ですが、今日は朝から公園で子供と遊び倒してきました。

遊び疲れて昼寝している合間にこの文章書いてます(笑)

さて、ここ半年近くトレードにおける『型』というワードを意識して、大事なことを伝えてきていますが

それが僕の周囲では徐々に浸透してきている感じがします。

一方で、その『型』という概念、考え方について少々誤解が生じ始めているかな？

と感じる事も多くなってきたので、改めて僕が考えている『型』の概念について

今日のメルマガでお伝えしようと思います。

□
■ 『型』≠手法 であれば、なんなのか??
└──────────────────┘

1か月ほど前に、『型』とは何か？という話は既にしてはいるのですが

▼モーニングライブアーカイブ: 何故『型』が重要なのか▼

<https://youtu.be/-xK60BpEv2Y>

所謂「こうなったらトレードする=エントリーの定型」を「手法」と呼ぶのは一般的になっていると思います。

もちろん、手法を固める事も重要なのですが、それは『型』を決めるための ひとつの要素 だけではありません。

つまり、「手法」だけをただ突き詰めても、それは『型』としては不完全だということです。

なぜなら、「手法」はあくまで、自分なりの「勝ち方」を可視化はしてくれますが

それ以上の情報はもたらしてくれません。

以前からお伝えしていることを繰り返しますが、相場は常に『不確実性』を持っています。

つまり、型通りのトレードを行ったとしても「損切(必要経費のお支払い)」を行う場合もあるわけで

そのための立ち回り方(僕はよく『“負け方”を決める』という表現をします)も決めておくことが重要なのです。

加えて、その時に負うリスクを予め把握し(メルマガ【35】通目参照)、トレードルールに組み込む。

このように

- ・自分がエントリーを決める値動きのパターン(≡手法)
- ・決済(利確 / 損切)の条件を決める事(クロの場合、③波理論における「①波否定」等)
- ・負うリスクのコントロール(許容損失率 等)

以上のルールの枠組みを作ったうえで、100回、1000回と同じ試行を繰り返し

【トータルの利益をプラスに出来る状態】となった時点で、『型』が完成します。

ですから、エントリーのやり方を覚え、勝つ実感を得た時点では、まだ「勝ち方(手法)」を覚えただけ。

スタートラインに立った状態と言っても良いでしょう。

そこから、フォワードテストを通じて『資金を残す“負け方”』を経験則的に覚えたり

「1回の負け」に動揺することなく、次のトレードを冷静に実行するマインドセットを身につける。

このような『“経験”を踏まえた自身へのフィードバック』を繰り返すことで、『型』の輪郭が作られ、精度が向上していきます。

覚えてすぐ使いこなせるわけではないからこそ、時間も手間も掛かる作業なのです。

ですが、多くの発信ではその大変さや重要性にはフォーカスされないので

投機(特にFX)における異常なまでの「参入障壁の低さ」も相まって

「ちょっと頑張れば稼げるようになる」というあり得ない幻想を生んでしまっているのだと思います。

昨日のメルマガの続きのような、説教じみた内容になってしまいましたが

この現実を正しく見つめ、必要な行動・ステップを積み重ねた人だけが、トレードの世界で結果を残せるようになります。

このメルマガを読んでいる皆さんには、是非その取っ掛かりを掴んでほしいと思っています。